

令和元年度事業報告

【概要】

人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”を目指し、淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進するため、「淡路を担う人づくり」、「花と緑豊かな環境づくり」、「活気あふれる地域づくり」、「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で事業を推進した。

「淡路を担う人づくり」では、淡路島くにうみ講座等に 1,510 名の参加を得、淡路島の魅力を広く周知するとともに、永田青嵐顕彰全国俳句大会では、いずれも過去最多となる 4,342 名から 7,366 句の投句があり、俳句を通じたふるさと意識の高揚を図った。

「花と緑豊かな環境づくり」では、島民の参画を得ながら島内各地で淡路花祭やあわじ花へんろ事業など多彩な緑花事業を展開し、一年を通じて花の島・淡路島をアピールした。

「活気あふれる地域づくり」では、淡路花博 20 周年記念花みどりフェアの事業主体となる実行委員会の事務局を運営し開催準備を進めるとともに、広域的な連携のもと淡路島ロングライド 150 の開催や淡路島日本遺産の PR などに取り組み、併せて民間団体への助成等も行い、多角的に淡路地域の活性化と交流人口の増加を図った。

「あわじ環境未来島構想の推進」では、家庭用蓄電池の導入支援などにより、より一層の島民の省エネに対する意識向上を図り、さらに淡路島の農と食の魅力発信や放置竹林をバイオマスエネルギーとして利用する活動に対し支援を行った。

また、淡路島の情報発信やイメージ向上を図っていくため制定した「淡路島花の応援団」に、今年度新たに 1 人の著名人を委嘱した。

【事業内容】

I 淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座

淡路島の地域活性化と淡路を担う人づくりを目的として、年間6回実施した。

<第1回>

演 題	「わたしの創造の源 ～淡路島から未来をつくる～」
講 師	清川 あさみ氏(アーティスト)
実施日	令和元年8月10日(土)
場 所	洲本市文化体育館文化ホール
参加者数	330名



【第1回講座】

<第2回> (淡路花祭 2019 秋オープニング・

花みどりフェア開幕1年前記念イベントと併催)

演 題 「庭づくりって楽しい！
～スウェーデン庭師から見た日本の魅力～」

講 師 村雨 辰剛氏(庭師・タレント)

実 施 日 令和元年9月21日(土)

場 所 淡路夢舞台国際会議場イベントホール

参加者数 230名



【第2回講座】

<第3回>

演 題 「天気予報の見方と自然災害への備え」

講 師 蓬萊 大介氏(気象予報士・防災士)

実 施 日 令和元年10月19日(土)

場 所 淡路夢舞台国際会議場イベントホール

参加者数 270名



【第3回講座】

<第4回>

演 題 「淡路島に汽車が走った～淡路の鉄道史～」

講 師 武田 信一氏(淡路地方史研究会顧問)

実 施 日 令和元年11月14日(木)

場 所 洲本市文化体育館1F会議室

参加者数 190名



【第4回講座】

<第5回>

演 題 「淡路島の未来に向かって
～交流人口の拡大で地域をもっと元気に～」

講 師 山田 啓二氏(京都産業大学法学部教授、
前京都府知事)

実 施 日 令和2年1月27日(月)

場 所 洲本市文化体育館文化ホール

参加者数 300名



【第5回講座】

＜第6回＞(第11回永田青嵐顕彰全国俳句大会と併催)

演 題 「虚子と季題」
講 師 坊城 俊樹氏(俳人、俳誌「花鳥」主宰)
実 施 日 令和2年2月 23 日(日)
場 所 洲本市文化体育館文化ホール
参加者数 190 名



【第6回講座】

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会

淡路島出身の俳人 永田青嵐(本名:永田秀次郎)の功績を広く全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚を図るため、第11回永田青嵐顕彰全国俳句大会のほか、淡路島吟行バスツアー、入門講座及び出前講座を実施した。

(1) 第11回全国俳句大会

投句募集期間 令和元年6月～9月末
応募人数 一般 990 名、学生 3,352 名 計 4,342 名 (過去最多)
投 句 数 一般 1,957 句、学生 5,409 句 計 7,366 句 (過去最多)
選 句 代表選者の稲畑汀子氏と島内選者5名により受賞句を選定
受 賞 句 入賞 20 名(一般 10 名、学生 10 名)、佳作 40 名(一般 20 名、学生 20 名)、
入選 100 名(一般 50 名、学生 50 名) 計 160 名
表 彰 式 令和2年2月 23 日(日) 場所 洲本市文化体育館文化ホール



【表彰式】



【代表選者と受賞者の記念撮影】

(2) 淡路島吟行バスツアー

実 施 日 令和2年2月 24 日(月)
行 程 永田青嵐生家～淳仁天皇淡路陵～
慶野松原荘(句会)
参加者数 38 名



【永田青嵐生家】

(3) 出前講座 (2回)

① 淡路市立志筑小学校(6年生)

開催日 令和元年9月13日(金)
講師 正井 良徳氏(島内選者)
参加者数 73名

② 洲本市立安乎小学校(5年生)

開催日 令和元年9月26日(木)
講師 三根 香南氏(島内選者)
参加者数 13名



【生徒が作句した句の講評(志筑小学校)】

(4) 入門講座 (全3回コース)

開催日 令和元年7月12日(金)・19日(金)・26日(金)
場所 洲本市文化体育館2階会議室
講師 (島内選者)正井 良徳氏、三根 香南氏、稲山 忠利氏
(外部講師)水田むつみ氏
参加者数 43名(延99名)



【第1回 (作句のための基礎・基本)】



【第3回 (句会体験)】

3 花づくり人材育成事業

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした地域主催の講習会を対象にNPO法人あわじ緑花協会からの講師派遣と、材料費等の一部助成を行った。

助成件数 15件

(2) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立淡路景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」又は「まちづくりガーデナー・マスター」として知事認定証の交付を受けた者に受講料の一部を助成。

(3) 若手景観園芸人材育成支援事業

県立淡路景観園芸学校の学生が、海外施設で実施される高度な植栽管理等を学ぶ短期研修に参加するのに必要な経費の一部を支援した。 助成件数 4 件

II 花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため、関係機関及び関係団体と連携・協働し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催した。

(1) 2019 春(平成 31 年3月 16 日(土)～令和元年6月2日(日))

① オープニングイベント

実施日 平成 31 年3月 16 日(土)

場所 淡路ファームパーク イングランドの丘(南あわじ市)

内容 三原志知小学校和太鼓「志童」演奏、ゆるキャラ PR、花植え体験
第 39 代クイーン淡路就任披露式・第 38 代クイーン淡路退任式

参加者数 500 名(うち花植え体験 80 名)



【三原志知小学校「志童」】



【ゆるキャラによる PR】

② 第6回お絵かき花壇づくりコンテスト作品展示

展示期間 平成 31 年3月 23 日(土)～

令和元年6月2日(日)

場所 淡路島国営明石海峡公園

入賞数 10 点(応募数 38 点)



【お絵かき花壇制作風景】

③ 第7回淡路花祭フォトコンテスト

募集期間 平成 31 年1月 21 日(月)～令和元年6月 10 日(月)

部門 「人・花」及び「花の札所」の2部門

応募数 195 点

入選数 17 点(グランプリ1点、各部門:優秀賞3点、佳作5点)

巡回展示 8月 27 日(火)～ 9月 25 日(水) 淡路文化会館

9月 27 日(金)～11 月6日(水) 美菜恋来屋

12 月5日(木)～12 月 23 日(月) 洲本市文化体育館

1月 15 日(水)～2月 11 日(火・祝) ウェスティンホテル淡路



【グランプリ(総合)】



【優秀賞 (人・花部門)】



【優秀賞 (花の札所部門)】

④ 花物語クイズラリー

期 間 平成 31 年 3 月 16 日 (土) ～ 令和元年 6 月 2 日 (日)

場 所 県立淡路島公園ほか 10 施設

応募者数 ・花さんぽコース(あわじ花さじき等「花の札所」指定の5施設) 153 名

・花へんろコース(パルシェ香りの館等の主要公園5施設) 118 名

当選者数 36 名 (各コース 18 名)

(2) 2019 秋(令和元年9月 21 日(土)～11 月 10 日(日))

① オープニングイベント(花と緑の講演会・花みどりフェア 開幕1年前記念イベントと併催)

実 施 日 令和元年 9 月 21 日(土)

場 所 淡路夢舞台国際会議場イベントホール

内 容 社会人ジャズバンド「The Thursday Night Jazz Orchestra」

による演奏、花みどりフェア PR 動画放映、花みどりフェア開幕1周年前記念フラワーオブジェ除幕式、花と緑の講演会(村雨辰剛氏)

参加者数 230 名



【The Thursday Night Jazz Orchestra による演奏】



【花みどりフェア開幕1年前イベント除幕式】

② 第7回高校生花とみどりのガーデン

期 間 令和元年 9 月 21 日(土)～11 月 10 日(日)

場 所 県立淡路景観園芸学校

出 展 者 農林水産系学科を置く県立高等学校 12 校
及び県立淡路景観園芸学校(特別展示)



【播磨農業高校が創作した庭の展示】

③ 花物語クイズラリー

期 間 令和元年9月21日(土)～11月10日(日)

場 所 県立淡路島公園ほか10施設

応募者数 ・花さんぽコース(あわじ花さじき等「花の札所」指定の5施設) 95名
・花へんろコース(パルシェ香りの館等の主要公園5施設) 93名

当選者数 36名(各コース18名)

(3) 2020 冬咲きチューリップショー

① オープニングイベント

実施日 令和2年1月18日(土)

場 所 洲本市民広場

内 容 洲本こども園園児による鼓隊演奏、テープカット、花みどりフェアPR、バルーンリリース、同時開催イベント(豚汁・淡路牛ドッグのふるまい、野菜産直市、竹細工教室等)

参加者数 約500名



② 冬咲きチューリップ展示

期 間 令和2年1月18日(土)～2月26日(水)

場 所 洲本市民広場、御食国、洲本高速バスセンター、
県民局及び島内3市庁舎ほか

内 容 4品種、11,400本のチューリップ展示



【冬咲きチューリップ展示】

③ 冬咲きチューリップの島民への無償配布

実施日 令和2年2月27日(木)

場 所 洲本市民広場

(4) 2020 春(令和2年3月20日(金・祝)～5月31日(日))

① オープニングイベント ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

実施日 令和2年3月20日(金・祝)

場 所 洲本市文化体育館、洲本市民広場

内 容 県立洲本高校吹奏楽部による演奏、県と3市のゆるキャラによる花みどりフェアPR等、花と緑の講演会(富山昌克氏)、花植体験

② 第7回お絵かき花壇づくりコンテスト

募集期間 令和元年12月16日(月)
～令和2年1月31日(金)
一次審査(書面審査) 令和2年2月(応募数30組)
二次審査(花壇制作) 令和2年3月28日(土)(参加数10組)
花壇制作場所 淡路島国営明石海峡公園
展示期間 令和2年3月28日(土)～5月31日(日)



【お絵かき花壇づくりコンテスト募集チラシ】

③ 第8回淡路花祭フォトコンテスト

募集期間 令和2年1月9日(木)～6月10日(水)
部門 「人・花」及び「花の札所」の2部門

④ 花物語クイズラリー

期間 令和2年3月20日(金・祝)～5月31日(日)
場所 県立淡路島公園ほか10施設



【花物語クイズラリー応募用紙】

2 花街道づくり事業

観光客等からよく見える国道・県道又は交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花の街道づくりを実施する個人・団体に対して20万円を上限に助成を行った。

助成件数 24件

3 あわじ花へんろ事業

花の島・淡路島への一層の誘客を図り、淡路島の魅力を満喫していただけるよう、花の名所、景勝地、観光施設等72箇所を「花の札所」として指定し、整備費等の経費の助成や情報発信を行った。

(1) 花の札所への支援等

① 花の札所拡充事業

花の札所としてさらなる誘客や魅力向上に取り組む札所を支援するため、施設が行う整備事業に要する経費として20万円を上限に助成した。

助成件数 9件

② 花の札所開花状況等情報提供促進奨励金交付

開花情報等を年2回以上提供いただいた花の札所(公的施設等を除く)に対して、1施設につき2万円の奨励金を交付した。なお、提供いただいた情報は「花の札所 花だより」に掲載し、情報発信を行った。

交付件数 29件

③ 花の札所連絡会(管理者会議)の開催(年1回)

実施日 令和元年6月6日(木)
場所 洲本市文化体育館

(2) 広報 PR

① あわじ花へんろ・花の札所スタンプラリー(巡礼大会)の開催

花の札所を巡り獲得したスタンプ数に応じて、淡路島の特産品などが当たるスタンプラリーを冊子版とスマホ版により開催した。

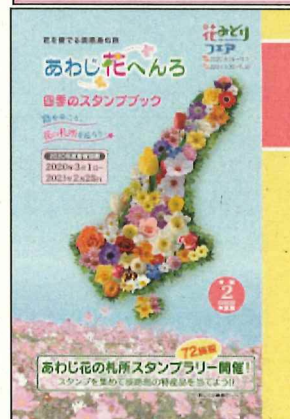
開催期間 毎年3月1日～翌年2月末日

ア あわじ花へんろスタンプラリーポスター及びリーフレットの作成

元年度に新たに制作した「花の札所スタンプブックWEBアプリ」の周知と、本事業の啓発のためポスターとリーフレット(5,000枚×2回)を作成し、広報を実施した。

イ あわじ花へんろ四季のスタンプブック(冊子版)の作成

「四季のスタンプブック」の小冊子を6,500部作成し、リーフレットと併せて、関係各所や希望者に送付した。



【令和2年度版四季のスタンプブック】

ウ 花の札所スマホ版スタンプブック(WEBアプリ)の制作(新規)

花の札所訪問者の利便性を向上させ、花の島・淡路島への一層の誘客及びPRを図るため、従来の冊子版に加えて、「花の札所スタンプブックWEBアプリ」を新たに制作し、9月15日(日)からスタートした。

主な機能: 札所スタンプのデジタル化、札所の紹介及びアクセス表示機能、WEB応募機能、事務局集計機能等)
登録者数: 699名 (R2.3.31 現在)



【スマホ版スタンプブック】

エ 応募状況

スタンプ数	コース名	賞品	応募者	当選者数
10 スタンプ	Aコース	2020 花の札所カレンダー	38 名	30 名
	Bコース	淡路島玉ねぎ5kg	113 名	30 名
20 スタンプ	Cコース	淡路島スイーツ(新規)	74 名	30 名
35 スタンプ	Dコース	淡路島鮎原米 10kg	20 名	20 名
72 スタンプ	Eコース(満願成就)	淡路ビーフ	33 名	20 名
計			278 名	130 名

② 2020 花の札所カレンダーの作成

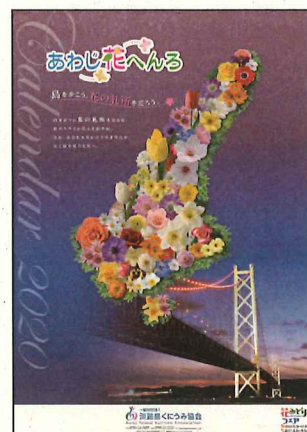
花の島・淡路島の魅力のPR及び一層の誘客を図るため、四季折々の花の札所を紹介した「2020 花の札所カレンダー」を作成した。

③ 「花の札所花だより」による情報発信

花の札所から提供のあった花の開花情報やイベント等を紹介する「花の札所 花だより」を毎月(年 12 回)発行した。

発行部数 約 350 部/月

配布先 花の札所、観光案内所など



【2020 花の札所カレンダー】

④ あわじ花へんろホームページによる情報発信

専用ホームページで、開花情報や花の札所からの最新情報などを随時発信した。



【13 番札所 あわじ花さじき】



【33 番札所 淡路ファームパーク イングランドの丘】



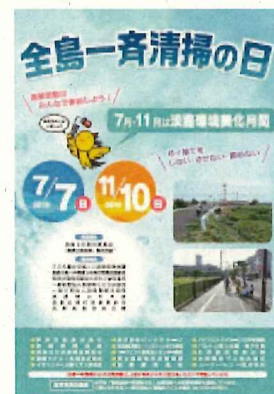
【花の札所スタンプ台】

4 環境美化事業

「環境立島淡路島民会議」に参画し、「環境美化月間」及び「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施した。

環境美化月間 7月、11月

全島一斉清掃実施日 7月7日(日)、11月10日(日)



【全島一斉清掃啓発ポスター】

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 淡路花博 20 周年記念花みどりフェアの開催準備

国際園芸・造園博ジャパンフローラ 2000(淡路花博)から 20 周年を記念して、令和 2 年秋及び令和 3 年春に開催する「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」の事業主体となる実行委員会の事務局を運営し、開催準備を進める。

【企画委員会】	第 1 回	実施日	令和元年 6 月 25 日(火)
		場所	兵庫県民会館
		内容	基本計画(案)、ロゴ(案)、ポスター(案)
	第 2 回	実施日	令和元年 10 月 4 日(金)
		場所	兵庫県民会館
		内容	2020 年秋期実施計画(案)

- | | | | |
|---------|-----|-----|-------------------|
| | 第3回 | 実施日 | 令和2年2月6日(木) |
| | | 場所 | 兵庫県民会館 |
| | | 内容 | 2021年春期実施計画(案) |
| 【実行委員会】 | 第1回 | 実施日 | 令和元年8月7日(水) |
| | | 場所 | 淡路夢舞台国際会議場イベントホール |
| | | 内容 | 実行委員会会則、基本計画(案) |
| | 第2回 | 実施日 | 令和元年11月20日(水) |
| | | 場所 | 淡路夢舞台国際会議場イベントホール |
| | | 内容 | 2020年秋期実施計画(案) |
| | 第3回 | 実施日 | 令和2年3月30日(月) |
| | | 場所 | 淡路夢舞台国際会議場イベントホール |
| | | 内容 | 2021年春期実施計画(案) |

2 地域活性化助成事業

淡路島の地域活性化を図ることを目的とした、まちおこし事業、地域交流事業、文化・芸術事業、「国生みの島」をテーマとした事業等を実施する団体に対して経費の一部として20万円を上限に助成した。

助成件数 19件(第1期: 11件、第2期: 8件)

3 淡路島誘客支援事業

(1) 「あわじ環境未来島コース」バス助成

「あわじ環境未来島構想」や環境保全への取組を学ぶ学習ツアーを、貸切バスを利用して実施する団体・事業者に対して、経費の一部を助成した。

日帰り 助成台数 8台/参加者数 270人

宿泊 助成台数 4台/参加者数 138人

(2) 淡路島誘客キャンペーン

県民局等関係団体と連携して、淡路島名誉大使の桂文枝さんを起用したCM放送などの誘客キャンペーンを実施した。

TV・ラジオでのCM放送(9月1日～10月31日)

東京都内や大阪府内の映画館での淡路島PR動画の放映(11月～12月)等

(3) サイクリングアイランド淡路推進事業【新規】

県、島内3市及び淡路島観光協会と連携し、全国的に知名度のある琵琶湖やしまなみ海道等と共同して、周遊スタンプラリーなどのPR事業を実施した。

・周遊スタンプラリー(デジタルスタンプラリー)の実施

期 間 令和元年7月1日～9月30日

参加者 2,064名

・多言語ホームページ(アワイチ)の制作

(令和元年10月1日公開)



【ホームページトップ画面】

4 淡路島インバウンド対応推進事業

県民局等関係団体と連携して、海外現地でのプロモーションやツーリズム EXPO ジャパン 2019 への出展を行うなど淡路島の魅力的な情報を国内外へ発信し、訪日外国人客の淡路島への誘客を促進した。

(1) 海外現地プロモーション

① 日本観光物産博覧会

開催日 令和元年6月20日(木)～22日(日)

場 所 台北市台北駅構内ほか(台湾)

来場者数 131,000人

② 台北国際旅行博

開催日 令和元年11月8日(金)～11日(月)

場 所 台北市南港展覽館(台湾)

来場者数 384,834人

③ 香港 FIT セミナー&商談会

開催日 令和元年12月9日(月)～10日(火)

場 所 香港・尖沙咀のリーガルカオールンホテル

(2) ツーリズム EXPO ジャパン 2019

開催日 令和元年10月24日(木)～27日(日)

場 所 インテックス大阪(大阪市)

来場者数 151,099人

(3) ファムトリップ

① USJ との連携

開催日 令和元年6月20日(木)～22日(日)

行 程 ニジゲンノモリ、ハローキティほか

対 象 者 台湾・香港インフルエンサー(メディア9社11名)

② 大阪府・関空促進協・チャイナエアラインとの連携

開催日 令和元年12月14日(土)～17日(火)

行 程 ニジゲンノモリ、安藤建築、伊弉諾神宮ほか

対 象 者 台湾インフルエンサー(ユーチューバー1名)

③ 大阪府・関空促進協・ピーチ航空との連携

開催日 令和元年1月15日(水)～17日(金)、20日(月)

行 程 あわじ花さじき、道の駅東浦、洲本温泉ほか

対 象 者 台湾インフルエンサー(メディア5社6名)

5 淡路島観光協会支援事業【新規】

淡路島総合観光戦略を推進するうえで必要な情報発信の強化や多様なコンテンツの開発、淡路島ブランドの構築など新たな課題に対応していくため、その中心的役割を担う淡路島観光協会の体制強化と事業の実施を支援した。

6 淡路島ブランド広域推進助成事業

淡路島の地場産品を利用して魅力ある「淡路島ブランド」として商品化し、島内外で広く事業を展開する団体に対して経費の一部として50万円を上限に助成した。

助成件数 2件

7 活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド150支援事業

県及び島内3市等で構成する「淡路島ロングライド150実行委員会」に参画し、前夜祭及び出走当日の運営、広報、4箇所のエイドステーションでのふるまい等の活動を支援した。

開催日 令和元年9月16日(月・祝) <前夜祭:9月15日(日)>

出走者数 2,204名

完走者数 2,044名(完走率 92.7%)



【前夜祭(蒼開中高校ジャズバンド部による演奏)】



【スタート地点(国営明石海峡公園)】

(2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

県、島内3市等で構成する「本四道路活用イベント実行委員会」に参画し、地域間交流や本四道路の利用促進の一環として実施している体験ツアーの開催を支援した。

① 明石海峡大橋海上ウォーク

開催日 令和元年5月25日(土)・26日(日) 参加者数 2,187名

開催日 令和元年11月9日(土)・10日(日) 参加者数 1,618名

② 大鳴門橋うずしおウォーク

開催日 令和元年9月14日(金)・15日(土) 参加者数 243名

(3) 広域連携イベント等支援事業

淡路全島で取り組む広域的な事業として、島内外の事業者と島内3市が連携し、淡路島の食と観光、住まいの魅力を発信する「淡路島ええもん 美味しいもんフェア」の開催を支援した。

期 間 令和元年10月15日(火)～10月19日(土)
場 所 JA東京アグリパーク(東京都渋谷区代々木)
来場者数 4,276名

(4) Awaji Art Circus 支援事業

県、島内3市等で構成する「Awaji Art Circus 実行委員会」に参画し、海外アーティストによる国際パフォーミングアートフェスティバルの開催を支援した。

期 間 令和元年9月21日(土)～10月27日(日)
場 所 HELLO KITTY SMILE 等島内7ヶ所

8 フィルムオフィス事業

淡路島内での映画、テレビ番組、テレビCMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネート、エキストラの手配等を行う「淡路島フィルムオフィス」の活動を支援するとともに、「うみぞら映画祭」の開催支援や「第5回全国ふるさと甲子園(ロケ地とご当地グルメの祭典)」への出場などにより淡路島の魅力をPRした。

(1) ロケ等支援

淡路島オールロケ映画「なんのちゃんの第二次世界大戦」の撮影にあたり、地元調整などの支援を行ったほか、8月30日公開の映画「引っ越し大名！」(慶野松原)の公開に合わせ、ロケパネル展も開催し、ロケ地巡礼に訪れる観光客の増加に貢献した。

ロケ支援実績 37件

[内訳] ・映画(自主制作含む)4件 ・TVドラマ2件
・TV番組13件 ・CM6件
・プロモーションビデオなど12件



【映画「引っ越し大名！」(慶野松原)】



【映画「なんのちゃんの第二次世界大戦」(大磯地区)】



【映画「引っ越し大名！」プロモーション連携企画】

公開前からパネル展を開催（8/1～9/30）

ロケ風景やタイアップポスターの掲示。コラボ巾着、うちわなどをPRイベント等で配布した。

(2) うみぞら映画祭の開催支援(5/25,26 2日間) 場所:大浜海水浴場ほか

海の上に巨大なスクリーンを浮かべ、砂浜から映画を楽しむ「海の映画館(大浜公園)」をメイン会場に開催された映画祭を支援するとともに、さらなる賑わいづくりのため、淡路島オールロケで撮影された映画「時代おくれ」の主演間寛平さんのトークショーなどを開催した。



うみぞら映画祭共催イベント

【映画「時代おくれ」間寛平さんトークショー】



【2日間で6,000人が海の映画館を満喫】

(3) 第5回「全国ふるさと甲子園」出展

「映画やドラマのロケ地」と「ご当地グルメ」をテーマに、どれだけ多くの方がその地域を訪れたいかを競う「第5回全国ふるさと甲子園」に、(一社)淡路島観光協会と共同で出展し淡路島の魅力をPRした。

開催日 令和元年8月24日(土)

場所 アキバ・スクエア(東京都千代田区)

内容 映画「引っ越し大名！」のPR、淡路島牛丼、玉ねぎスープの販売等

参加者数 3,062名



【クイーン淡路がステージPR】



【出展ブースでのPR】

9 淡路島日本遺産推進事業

平成 28 年4月に認定された日本遺産「国生みの島・淡路」を生かした地域づくりを推進するため、県民局、島内3市、淡路青年会議所、淡路島観光協会等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、今年度は淡路島日本遺産の情報発信、スマホ RPG の活用、ボランティアガイドの育成等にかかる経費を負担した。

- ・ 9 月 8 日 サポータークラブ研修開催(五斗長垣内遺跡)
- ・10 月 13 日 令和元年度日本遺産サミット in 高知でのブース出展
- ・12 月 2 日 サポータークラブ研修
- ・ 1 月 18 日 スマホ RPG「はじまりの島」 Youtuber タイアップ動画製作
- ・ 2 月 1 日 海人の調査研究事業シンポジウム開催(洲本市文化体育館)
- ・ 3 月 8 日 全国くにうみ漫画ワールドカップ表彰式(ニジゲンノモリ)
(応募総数)437 点 (受賞作)17 点



【スマホ RPG「はじまりの島」パンフレット】



【全国くにうみ漫画ワールドカップ表彰式】

10 「食」専門職大学検討事業

淡路地域の特性を踏まえた「食」産業分野を担う専門人材を育成する実践的な高等教育機関(専門職大学)開設に向け、基本計画の策定やカリキュラム内容等を検討する「淡路地域食分野専門職大学構想検討会」(事務局:兵庫県企画県民部)に参画した。

11 淡路人形浄瑠璃フランスプロモーション事業【新規】

県、市等で構成する「淡路人形浄瑠璃フランスプロモーション委員会」に参画し、国指定重要無形民俗文化財である「淡路人形浄瑠璃」のフランス公演を通じた淡路島の魅力の発信や現地旅行会社等へのインバウンド誘客プロモーションを支援した。

期 間 令和元年 10 月 4 日(金)～10 月 6 日(日)

場 所 国立シャンボール城(ロワール・エ・シェール県)、第 6 回サロン・デュ・サケ会場(パリ市内)

12 協会設立 10 周年記念事業【新規】

平成 31 年 4 月の協会設立 10 周年を記念して、淡路地域の活性化等の方策を考えるシンポジウムを開催するとともに、当協会の 10 年間の歩みを紹介するパネル展示や記念誌を制作した。

実施日 平成 31 年 4 月 19 日(水)

場 所 洲本市文化体育館文化ホール

テ ー マ 「私たちの淡路島～歴史に学び、未来へつなぐ～」

内 容 基調講演及びパネルディスカッション

講 師 田辺 真人氏 (園田学園女子大学名誉教授)

パネリスト 近藤 加奈子氏 (洲本市地域おこし協力隊)

田中 優子氏 (じゃらんリサーチセンター兵庫県エリアプロデューサー)

藤井 宏昌氏 (一般社団法人淡路青年会議所理事長)

森 靖一氏 (フレッシュグループ淡路島代表)

参加者数 230 名



【田辺 真人氏 基調講演】



【10 周年記念誌】

IV あわじ環境未来島構想の推進

県、市、地域団体、企業等と協働して持続可能な地域づくりを目指す「あわじ環境未来島構想」を推進した。

1 あわじ環境未来島構想推進協議会の設置運営

【総会の開催】

実施日 令和元年 5 月 31 日(金)

場 所 淡路夢舞台国際会議場メインホール

内 容 構想の現状と今後の取組み等



【令和元年度総会】

2 あわじ環境未来島セミナー

あわじ環境未来島構想に基づき、島内で展開されている各種事業に関心を持っていただくため、プロジェクト現場等を見学するセミナーを開催した。

実施日 令和元年11月23日(土)

場所 淡路市内

行程 伊藤線香工場、五斗長垣内遺跡(鍛冶体験)、淡路貴船太陽光発電所

参加者数 19名



【線香工場見学】



【鍛冶体験】

3 淡路島 農と食の体験ツアー

あわじ環境未来島構想の柱の一つである「農と食の持続」を推進するため、レタスの収穫や種まきを行う農業体験、淡路島産食材でのアイスクリーム作り体験等を通して、淡路島の農と食の魅力を発見・体験できるツアーを実施した。

実施日 令和元年11月4日(月・祝)

場所 野口ファーム、吉備国際大学南あわじ志知キャンパス、美菜恋来屋

内容 レタス植付け収穫体験等、大学教員による食品加工実験等

参加者数 19名



【淡路島産食材でアイスクリーム作り】



【レタスの植付け体験】

4 あわじ環境未来島副読本活用事業

授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとなるよう、あわじ環境未来島副読本「みらい」を島内の小学生高学年等に配布した。

発行部数 2,500部(令和2年3月発行)

5 あわじ環境未来島構想の推進に係る情報発信

ホームページによる構想の取組を随時発信した。

アドレス <http://www.awaji-kankyomiraijima.jp/>



【あわじ環境未来島構想ホームページ】

6 「EVアイランドあわじ」推進事業

(1) EV タクシー、レンタカー導入補助事業

島内のタクシー、レンタカーを対象として、電気自動車の購入またはリースにより導入する場合の補助を行い、EVの導入促進を図った。



【EVレンタカー】

(2) 電気自動車用充電器設置補助事業

EV タクシー、レンタカー導入促進に向けた島内のインフラ整備を図るため、充電器の設置に対して補助を行った。

7 竹資源供給体制整備事業

島内に豊富に存在する竹資源を、バイオマスエネルギーとして活用することにより、淡路島特有の再生可能エネルギーを創出するとともに、放置竹林の拡大を防止するため、地域住民が自ら行う竹林整備活動等に対して、資機材費などの支援を行う市に対して助成した。

補助対象者 洲本市・南あわじ市・淡路市

実施期間 令和元年11月1日(金)～令和2年2月29日(土)

助成団体 4団体

8 エネルギーの地産地消促進事業(家庭用蓄電池の導入支援)

島民の省エネに対する取組を促すため、太陽光発電設備が設置されている住宅に一定の要件を満たした家庭用蓄電池を設置する者に対して費用の一部を支援した。

受付期間 平成31年4月1日(月)～令和元年8月21日(水)

(募集期間は令和2年2月28日までであったが、予算額に達したため受付を終了した。)

助成件数 50件

9 住民参加型太陽光発電事業(住民参加型くにうみ太陽光発電所)

県が住民参加型市場公募債を発行して県民から募った資金を発電所の建設・運営資金として借り受け、県立淡路島公園隣接用地にメガワット級の太陽光発電所を建設し、全量売電を行っている。

平成26年3月の設置以降、毎年、計画を上回る130万kWh前後の発電を行っており、官民協働の創エネルギーの取組に対して県外、国外から団体が視察に訪れている。

- ・場 所 淡路市岩屋2423番地(県立淡路島公園隣接用地約1.4ha)
- ・発 電 出 力 950kW
- ・計 画 発 電 量 100万kWh
- ・令和元年度発電量 約132万kWh(一般家庭約300世帯分の年間電気使用量に相当)

10 長期経営計画について

当事業は、県が県民債を発行して調達した資金を借り受けて実施しており、借入金とは売電収入から返済することとなっている。発電実績は事業開始以降、安定して年間予定発電量を26.2%～32.9%上回っており、平成25年度に借り入れた4億円のうち、1億円を平成30年8月に返済しており、残額については令和15年まで毎年2,000万円ずつ返済していく予定である。

V 普及啓発

1 ホームページでの情報発信

ホームページで、当協会の事業及び淡路島の情報を発信した。

アドレス <http://www.kuniumi.or.jp/>

2 各種媒体を使った広報

ノベルティグッズ(「2020 花の札所カレンダー」や花の種等)を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行った。

3 事業への協賛

行政機関や当協会の目的に合致する各種団体が実施する事業に協賛した。

4 協会広報紙(PROFILE)の作成

当協会の概要や事業を紹介する広報紙1,100部を作成し、配布した。



【協会広報紙 (PROFILE)】



【協会ホームページ】

5 淡路島花の応援団

淡路島の魅力を島内外に広く発信し、淡路島のイメージアップを図っていくため、島外の著名人で淡路島の魅力を広めることに賛同していただける方に「淡路島花の応援団」を委嘱している。今年度は新たに1名の方に委嘱し、計11名となった。

(1) 蓬莱 大介氏(気象予報士・防災士)

委嘱日 令和元年10月19日(土)



【蓬莱大介氏】

【附属明細書の作成について】

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。

令和2年6月

一般財団法人 淡路島くにうみ協会